

共同研究

～被爆100周年に向けた復興都市計画等の再検証～

市民講座（講演会①）

1945 2045

次世代が描く広島

先人たちは広島に何を描いたのか
まちづくりに込められた思いを受け取り、
私たちは未来に何を描くのか



2026年

7月28日(火)

15:00～17:00(開場14:30)

広島平和記念資料館東館
地下1階 メモリアルホール
(広島市中区中島町1-2)

定員 300名

事前申込不要

講演



復興期における報道と平和記念公園

講師：(株)中国新聞社 編集委員 水川 恭輔 氏

被爆直後から復興期にかけての新聞報道や当時の市民の声を紹介しながら、広島がどのような議論を重ね、どのような思いで復興を進めてきたのかを振り返ります。また、平和記念公園の整備や原爆ドーム保存を巡る議論を通して、現在の広島につながる先人たちの思いや決断を紹介します。



75年は草木も生えぬといわれたまちの緑

講師：(一社)広島市造園建設業協会 専務理事 栄谷 洋 氏

「75年は草木も生えぬ」といわれた広島で、全国から寄せられた樹木によって進められた供木運動や、被爆樹木の継承など、緑による復興の歩みを振り返ります。また、復興期から現在へと受け継がれてきた緑の価値を振り返るとともに、被爆100周年を見据え、これからの広島に求められる緑のあり方について紹介します。

本講演会は、公益社団法人日本都市計画学会中国四国支部と広島市が進める「被爆100周年に向けた復興都市計画等の再検証に係る共同研究」連携して開催する市民講座であり、市民の皆様にも広島市の復興の歩みやまちづくりへの理解を深めていただくことを目的としています。

主催：公益社団法人日本都市計画学会中四国支部
広島市都市整備局

協力：株式会社中国新聞社
一般社団法人広島市造園建設業協会